

# こんにちは 日本共産党県議団です

党県議団が  
知事に申し入れ

## 暮らし直撃の物価高騰に 県独自の支援策など求める



日本共産党県議団は6月9日に知事申し入れを行いました。

申し入れは▽新型コロナの新たな感染拡大に備えて、高齢者施設

や医療機関などでの頻回の検査及び無料検査の継続▽コロナ自宅療養者の健康状態の確認や医療につながる対応、生活必需品などの支給▽物価高騰に対し、県の独自予算での施策の実施▽高騰する飼料価格でひっ迫する畜産農家に低金利の融資制度の資金繰りを緊急に▽米軍戦闘機による飛行訓練で、政府に対する厳しい抗議と市街地上空での訓練の中止の要請一など

7項目です。

県は、物価高騰対策で相談窓口の開設、学校給食費の負担軽減などで対応。県独自の補正予算案を準備していると説明。

飼料価格の高騰対策では、政府系金融機関の融資の貸付限度額を1200万円に引き上げ、5年間の無利子・無担保・無保証で対応すると答えました。



### 農政林務委員会

#### 毛利栄子議員

北アルプス森林組合(旧大北森林組合)の経営状況について報告がありました。

新たに木材チップをバイオマスエネルギーとして活用する事業が開始されたが、人的な体制や材の確保が安定的にできるのか質問しました。

森林づくり推進課長は、事件後は作業員がやめるなどあったが、現在は徐々に増えてきている。バイオマス材は、地域振興局管内の市町村の協力を得て確保していくと答弁がありました。



松本の花き栽培事業所  
現地調査(7月11日)

### 危機管理建設委員会

#### 高村京子議員

リニア関連での関係者や住民の皆さんが盛土の災害への不安、土砂運搬ダンプカーの激しい往来での住環境の不安、水源の枯渇や異常出水の不安、南アルプストンネル工事は多くの活断層を横切ることの危険・環境破壊、リニアは電力を新幹線の3~4倍も必要。巨大地震が起きた時の安全は、などリニアへの不安や疑問の切実な声が寄せられています。県はこの声に真剣に向き合いリニア推進姿勢ではなく、慎重に対応すべきと質しました。



豊田中野線笠倉壁田橋建設  
現場現地調査(7月4日)

### 環境文教委員会

#### 和田明子議員

6月補正の価格高騰緊急対策予算の中で、省エネを進める、エネルギーコスト削減促進事業など環境部の予算が6割近くを占めます。省エネは自給率の観点から大事なことで県民や事業者積極的にPRを求めました。また、住宅への太陽光パネル設置と蓄電池への補助金について今年度の実績を質問し、現時点で、蓄電池の単体は110件。太陽光発電設備とセットは既に51件の申込みで、昨年度を上回る状況との答弁でした。



犀川安曇野流域下水道  
事務所現地調査  
(5月26日)

### 産業観光企業委員会

#### 両角友成議員

障がい者雇用促進事業では、県内に関係する企業1778社のうち障がい者法定雇用率達成企業56.8%の数字が示されました。4割は未達成。農業との連携「農福」はよく言われるが、林業との連携「林福」も林業に対する情勢の変化もあり可能性が広がっているのではと質しました。答弁は、危険が伴う現場はあるが推進したいとの事でした。何とか仕事に就かせたいと願う保護者の思いを語り雇用率アップを求めました。



工業技術総合センター  
現地調査(5月30日)

### 県民文化健康福祉委員会

#### 山口典久議員

地域医療構想の病床数は、「推計であり削減目標ではない」と国はいいます。しかし、実際に長野県内では高度急性期が2544から2102へ、急性期が9938から9689へと大幅に減っています。病床削減の影響を、引き続き調査、検証します。

公立病院の統廃合ありきではなく、関係者との意見交換、議会や住民への適切な説明を求めるとした国の公立病院経営強化プランについて、今後の取り組みをたずねました。



伊那文化会館現地調査  
(7月7日)

## 日本共産党県議会報告

No. 13 2022年8月 【2022年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266(直通) FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

